

# 地域活性化という「遊び」

24

京都市  
福知山市 「みわ・ダツシュ村」から

山本晋也

限界集落で50年ぶりに赤ちゃんが誕生！と

静かな山間の小さな村に華々しく元気な産声をあげた山本家初の女の子であり山本家ただ一人の地元民元気が7歳の誕生日を迎えることが



年の離れたお友達。  
最近カフェにもちょこちょこ来て頂いています。

できました。

多少の擦り傷??はあるもの  
大病などすることもなく  
地元の皆様に愛されながら  
名前の通り元気に  
すくすく育っております。

最近は一人で山へ  
花を探しに行ったり  
てくてく歩いて70歳違いの女友達の  
お家へお茶をしに行ったり

僕の携帯を勝手に持ち出して  
写真を撮ったり  
と行動範囲を広げ  
彼女なりの限界集落ライフを  
エンジョイしています。  
さて  
誕生日のお祝いと言っても  
我が家は通常

みんなでその子が好きな食べ物や  
ケーキを作ったりするだけで  
特別プレゼントを用意する  
ということはあまりしません。

誕生日だからと  
ものを買うというより  
その子が必要な時に必要なものを  
買う方が良いと思いますので  
素直にそうしています。  
なので  
誕生日が近くなって  
「なんか欲しいものある?」と  
聞いても  
「うーん今は特にないなー」  
ということもよくあります。

かし今回は  
「なんか欲しいものある?」  
と聞くと

限界集落ライフを楽しむ7歳の  
「ものの見方」の面白さ

筆者プロフィール

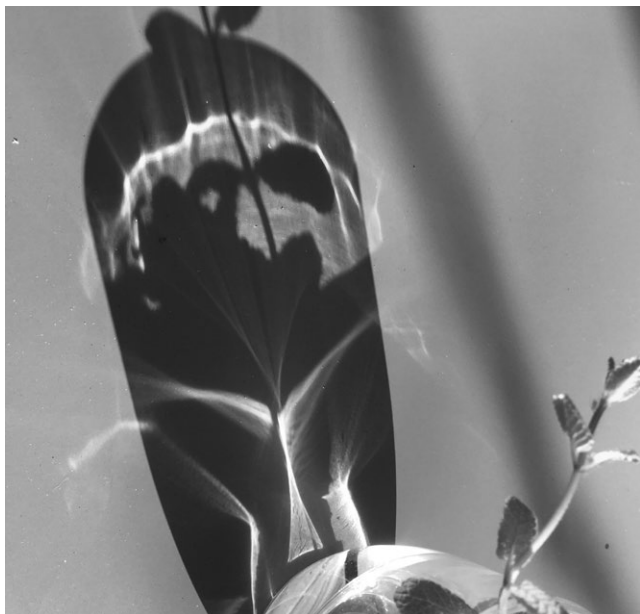
1968年、京都生まれ。美術大学を卒業して渡米後、京都で現代美術作家として活動。そのかわらオーガニックレストランを運営するも食材を種から作ってみたいとなり、京都市内で畑を始める。結婚して3人の子供を授かったころ、農業生産法人みわ・ダツシュ村の清水三雄と出会い、福知山市の限界集落に移住。廃屋を修繕しながら家族で自給自足を目指す。土と向き合ううち田畑と山や川、個人とコミュニティーの関係やその重要性に気がつき、田舎も都会もすべて含めた「大きな意味での自給」を強く意識するようになる。この考え方は、美術家時代にドイツの現代美術家ヨゼフボイスのすべての人々が参加して創り上げる社会彫刻という概念に影響を受けた。現在みわ・ダツシュ村副村長。

「カメラ!」と

珍しく即答でしたので  
買ってやることにしました。  
カメラだったら買ってやってもいい  
かなと思ったのには  
もう一つ理由がありまして  
先ほど

僕の携帯を持ち出して  
写真を撮っていると書きましたが  
その写真が結構面白いのです。  
美術系出身の僕がそのように書く  
彼女にカメラの才能があるとか  
構図が良いとか芸術的センスがと  
いう風に取りられてしまいましたが  
ここでいう面白いというのは  
「ものの見方」です。

今の彼女にはいい写真を撮ろうとか  
良い作品にしようとか  
そういう気持ちは一切ないので  
自分が本当に興味を持ったものを  
撮ってきます。  
ある日は雑草ばかり撮ってきていた



何十枚と撮ってきた影の写真。



今の季節  
山へ行っっては  
冬イチゴを  
食べてます。



パースデーケーキは  
自分で手作り。

ので  
てつきり雑草が主役なのかと思っ  
聞いてみましたら  
主役は雑草についている  
小さな水滴でした。  
ある日は  
ものの影ばかりだったり  
またある日は反射して壁に映った  
光ばかり撮ってきたり  
あー子供って日頃こんな風に世界を  
見ているんだなーと  
彼女なりの目線というものが見えて  
とても面白いのです。  
**単**に大人にはない子供らしい視  
点が面白いということもあり  
ますが  
その子なりの視点を  
知るといふことや

それをもとにその子なりの視点を  
大人が考え理解するということとは  
その子を一人の人間として  
認めるということでもあり  
子育てが難しくなる  
思春期ともなれば  
そのようなことが  
親子の信頼関係を築く際にはとても  
重要な意味を持つと思います。  
世にある人間関係の  
トラブルのほとんどは  
コミュニケーション不足が原因と  
言いますが  
それを解決するヒントが  
ここにあります。  
相手を知ることと  
相手のものの見方を知ること  
には大きな隔たりがあります。  
移住して9年目に入ると  
新しい移住者と  
地元民とのトラブルも  
よく聞こえてきますが  
原因はやはり  
ものの見方が  
お互い一方的というのが  
多いような気がします。  
集落のじいちゃんばあちゃんに  
カメラを渡すと  
どんな写真を撮るのかな？  
今月は  
そんなことを考えながら  
ニヤニヤしています。